

しっかり
予算を考えて
みらいを守る

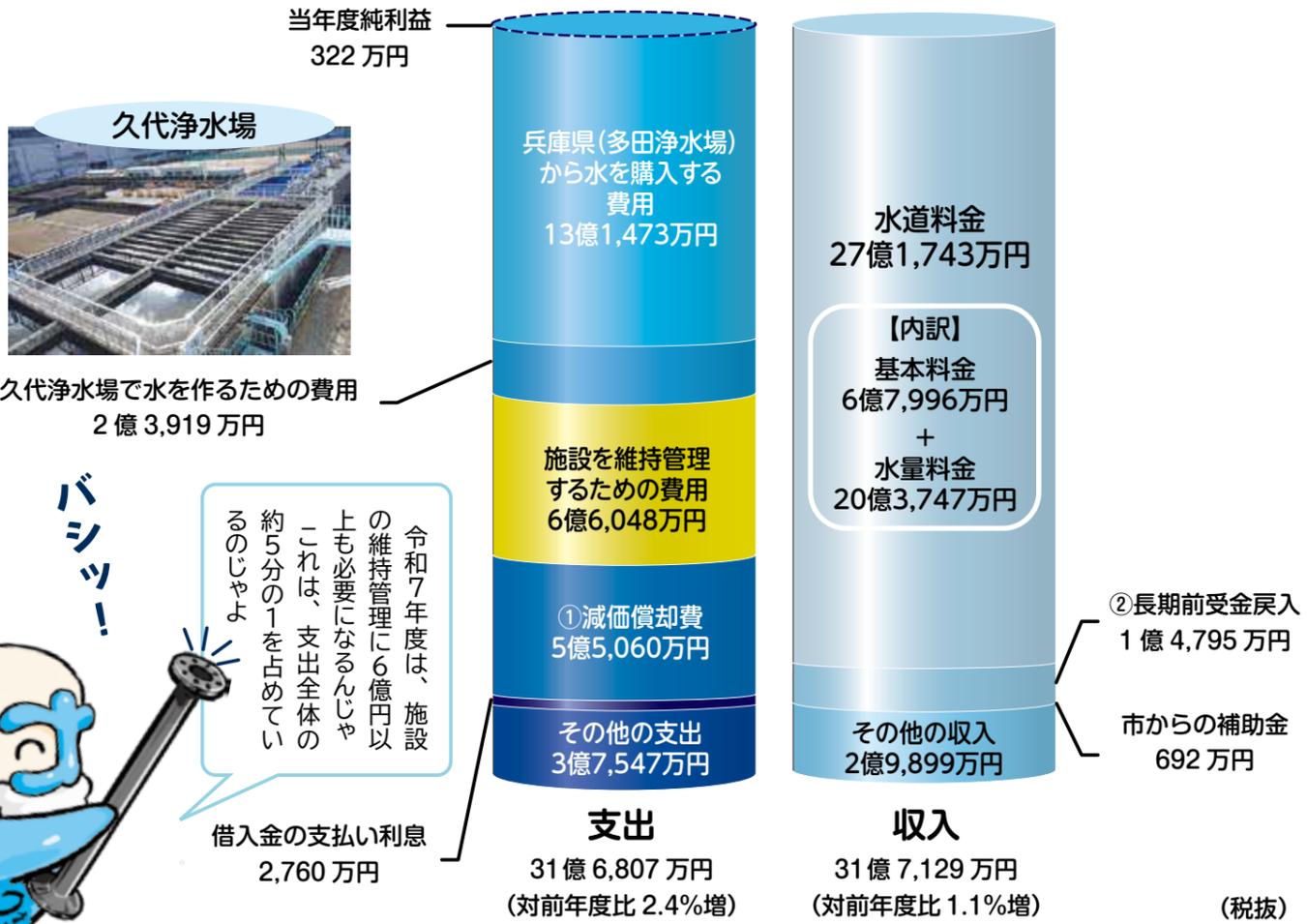
令和7年度当初予算

上下水道局の事業は、水道事業と下水道事業のふたつがあり、それぞれの事業は、経営活動に伴う内容の「収益的収支」と、施設の整備などに伴う内容の「資本的収支」の2つの会計で管理をしています。
今回は、みなさまからいただいた水道料金・下水道使用料の収入を管理し、上下水道の維持管理などの経営活動に伴う収支である「収益的収支」の予算を中心に説明します。



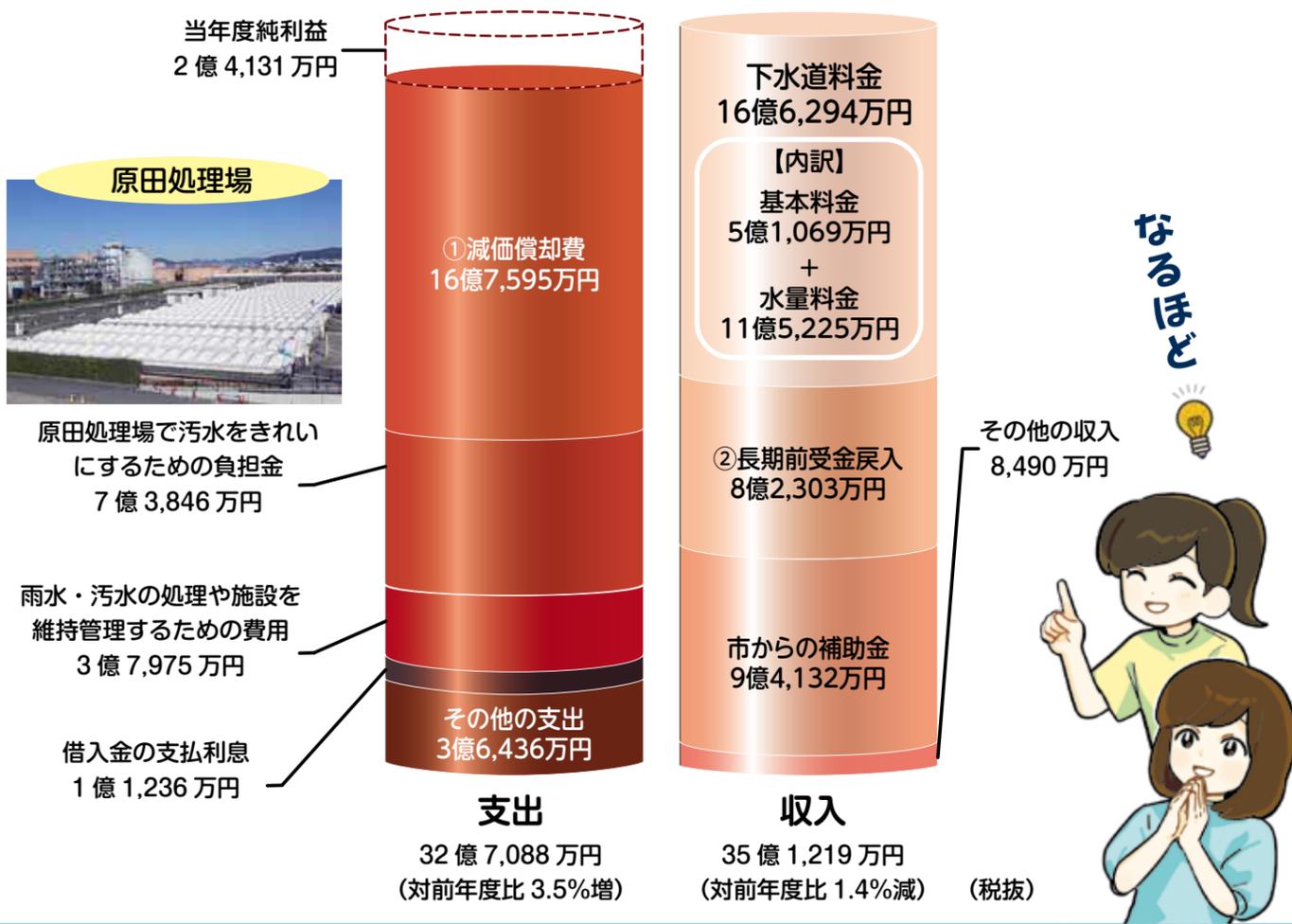
水道事業の収益的収支

水道水をつくり、みなさまのご家庭にお届けするための予算



下水道事業の収益的収支

快適で衛生的なみなさまの生活環境を維持するための予算



①お金の減らない支出「減価償却費」

上下水道事業における減価償却費とは、施設や車両などの資産の整備、取得に要した費用を、その資産の耐用年数の期間で割り振り、1年ごとの支出として計上する会計上の処理のことです。
減価償却として計上した金額は、会計上は支出となりますが、実際には現金が出ていくわけではありません。

例えば 耐用年数が4年の自動車を200万円で購入した場合 $\text{購入費用} \div \text{耐用年数} = \text{減価償却費}$

	購入時	1年後	2年後	3年後	4年後
資産価値	200万円分	150万円分	100万円分	50万円分	0万円分
収益的収支	計上しない	-50万円	-50万円	-50万円	-50万円
現金の動き	-200万円 ※購入時は「固定資産購入費」として資本的収支で計上	0円	0円	0円	0円

※毎年、下がった価値分50万円を支出したことになる
※この期間で、実際に現金を支払うわけではない

②お金の増えない収入「長期前受金戻入」

上下水道事業における長期前受金戻入とは、資産の整備、取得の際に財源とした補助金などを、その資産の耐用年数の期間で割り振り、1年ごとの収入として計上する会計上の処理のことです。
長期前受金戻入として計上した金額は、会計上は収入となりますが、実際には現金が入ってくるわけではありません。

例えば 200万円の自動車を購入する際に40万円の補助金を受けた場合 $\text{受け取ったお金} \div \text{耐用年数} = \text{長期前受金戻入}$

	購入時	1年後	2年後	3年後	4年後
資産価値	40万円分	10万円分	10万円分	10万円分	10万円分
収益的収支	計上しない	+10万円	+10万円	+10万円	+10万円
現金の動き	+40万円 ※購入時は「補助金」として資本的収支で計上	0円	0円	0円	0円

※40万円÷4年=10万円/年
→毎年長期前受金戻入で10万円を収入したことになる
※この期間で、実際に現金が入ってきているわけではない